**○北野 純1\*・大空 蛍 2・白板 五郎3（1 六郷農研・2 富良野大・3 北国大） 講演要旨作成の注意 Kitano, J.1\*, Oosora, H.2 and Shiroita, G.3 (1Rokugo Agric. Exp. Stn., 2Furano Univ., 3Kitaguni Univ.) Abstract Notification. \*e-mail-address@affrc.go.jp**

講演要旨はMicrosoft Wordで作成してください。用紙サイズはA5判横置きで、上下左右の余白を2.5 cmとして作成してください。1行は全角45文字、本文13行、全体16行以内（タイトル行が3行の場合）又は17行以内（同4行以上の場合）としてください。1行目に著者名を記し（発表者の前に○を付し、著者が複数の場合は「・」で区切る、姓と名の間に半角スペースを挿入）、続けて括弧内に所属の略称（所属が異なる場合は上付数字を付けて区別、責任著者には半角アスタリスクを付す）、1字空けて演題、1字空けて上記事項の英文表記（氏名はOosora, H、所属はFurano Univ.のように略記）を記載してください。その後半角1文字空けて、責任著者（学生の場合は指導教員）のメールアドレス（迷惑メールを避けるため、@の代わりに\*を使用してください）を記載してください。日本語はMS明朝、英文はTimes New Roman、11ポイントで記載し、タイトル行は太字に、本文は改行後の次の行から始めてください。本文中の英数字及び記号は原則半角を使用してください。講演予稿集は提出された講演要旨をもとに作成します。講演要旨は日本線虫学会誌第55巻に掲載されます。（掲載時にはメールアドレスは削除されます）。大会後に講演要旨を修正する手続きは、講演予稿集に記載する予定です（ここまで１６行）。

１７行目